

# 移動市長室

ふつかいちちゅうがっこうせいと  
かい  
二日市中学校生徒会  
ふつかいちちゅうがっこう  
二日市中学校  
せいと かい かつどうほうこく  
生徒会活動報告

通算72回目となる移動市長室を、9月25日(月)に開催しました。今回は、初めての取り組みとして、二日市中学校生徒会と懇談を行い、8人の出席がありました。

● 問い合わせ先 秘書広報課

## 大切にしていること

二日市中学校の生徒数は767人(平成29年5月1日現在)、校訓「敬愛信」のもと、生徒会活動の三本柱を「人権・平和・共生」とし、執行部以下、各委員会や係活動など日々の活動を行っています。

懇談は、二部構成とし、生徒会からの活動報告では、三本柱の目指すものをはじめ、今年度の全体目標・スローガン、活動の一つであるSPPの紹介、主な年間行事、筑紫野市内五中学校生徒会連合体(五中連合体)発足についての話があり、それらを受けての意見交換を行いました。その後、筑紫野市からの説明および意見交換を行いました。

三本柱の一つ目「人権」は、みんながあらのままの姿で安心して生活できること、仲間との違いを認め合い、お互いに高めあっていくことと考えており、そのような意識を高めていくために、学校行事に取り組んでいるということ。二つ目の「平和」は、戦争がない世界だけでなく、すべての人が差別や抑圧を受けない世界のことであると二中平和宣言でうたっており、その具体的な活動として、毎年8月6日に行っている平和集会・平和劇は、昭和63年から続く伝統行事で、途中2年間の休止期間があったものの、今年で復活10周年を迎えたということ。三つ目の「共



生」は、人と違って当たり前、その違いを理解し、受け止め、ともに高めあっていくことであると捉え、これらを日々意識し、活動をしているとの報告がありました。

今年度の生徒会全体目標・スローガンは、「なかもろみんなで幸せのバトンをつなぎ、幸せの「わ」を広げる」。それをイメージした動画の上映がありました。

みんなで全力で取り組む「二中らしさ」

S.A.A.J.F. [Smile・Peace・Projects]



の略で、三本柱に沿った活動を行っています。4月には人権の花「ひまわり」をPTAや地域の皆さんと校内に植えたこと、今年の平和集会では、ヒロシマ・ナガサキ・フクシマ・ミナマタでの差別について取り上げ、124人の実行委員が役割を持って平和劇をつくり上げたこと、核兵器廃絶署名や九州北部豪雨災害への募金活動を実施したことの紹介がありました。

行事は、生徒が中心になって企画、生徒全員が参加してつくり上げることを大切にしており、皆でやり遂げていく中で達成感や成長を感じることができ、「二中らしさ」がたくさん見られるという報告がありました。

ともに考え、つながり、ひろげたい

7月に発足した五中連合体は、市内の中学校生徒会の交流の場を設定することで、人権や平和についてともに考え、具体的な行動をより効果的に起こすことを目的にしており、一つの中学校では実現できなかったり、微力と感ずることも、市内中学生3千人のなかまと力を合わせて今後の活動を展開していきたいとの報告がありました。

自分の考えをしっかりと発信してくれました

意見交換では、生徒会活動に関



わって自分自身が成長したと思えることは、見る範囲が広がり自覚を持つようになったり、責任感を持つて自主的に考えるようになったりしたことなどの発言がありました。また、平和集会の取り組みを通じて、一人ひとりの居場所があることが平和につながるの認識を持つようになったこと、いじめや不登校をなくしていくため、クラス内での雰囲気づくりに取り組んでいることなども聞くことができました。

市政への関心を持ってもらえるように

市からは、クイズ形式でマスコットキャラクターや武蔵寺などを紹介し、市役所の具体的な仕事内容、本年度予算、第五次総合計画などを説



明しました。質疑応答で、予算や共助社会づくりについての質問があり、予算は歳入と歳出のバランスを取りながらさまざまな事業を実施していることや自助・共助・公助社会の実現に向け地域コミュニケーションづくりに取り組んでいるという回答を行いました。また、市長になろうと思ったきっかけは？という問いに対しては、市長の体験も踏まえた話がありました。

和やかで楽しい意見交換の時間を過ごすことができました。懇談の中でのご意見は、今後の市政に生かしていきます。

### 参加者からの感想

とても緊張しましたが、市長さんにとっても熱心にお話を聞いていただくことができて、すごくうれしかったですし、とても良い経験になりました。また、筑紫野市で行っている取り組みや市役所でのお仕事など、自分たちが今まで知らなかったことなどのお話をたくさん聞き、知ることができて、本当によかったです。ありがとうございました。

## 藤田市長の一言

二日市中学校の歴史ある伝統が「敬愛信」であり、それが脈々と息づき、三本の柱「人権・平和・共生」という形で、いろいろな取り組みを生徒会の皆さんが作り上げているというところがすばらしいと感じました。

今の三年生は卒業していきますが、五中連合体を大切に育てて行ってほしいと願います。このことによって、中学校の生徒会が変わる、生徒も変わる、学校そのものがいきいきとなってくるだろ

うということに確信が持てたような気がします。平和劇も、いろいろな皆さん方の活動もこれから続けてくださいね。本当に今日はどうもありがとうございました。

